

議題1「令和6年度大正区事業・業務計画書（素案）」について

【当日出された意見等】						
	テーマ	意見内容	委員名	回答	対応	担当課
1	広報	区の行政情報・魅力発信の充実について、SNSでアンケートを取る際に、クーポンを付けると広がるのではないか。 大正区には飲食店の人も多数いるので、お互いにウィンウィンになると思う。	南委員	＜大津 区政企画担当課長＞ クーポンについては、今すぐに回答出来ませんが、広報には力を入れなければならないと思っています。 今年度の区民意識調査によると、大正区の情報を「こんにちは大正」で取られている方が多く、SNS（X（旧Twitter）、LINE、Facebook）はあまり浸透していない状況です。現在はInstagramが多く利用されているので、今年度中にInstagramのアカウントを作りたいと思います。 ＜古川 区長＞ アンケートと連動してクーポンを付けるアプリが難しいということと、区に予算がないということがあります。 アプリについては、DX(※)によって大阪市自体が少しずつ変わっていきますので、その中でできることは増えていくと思います。 予算については、まずは人口を増やすところからというとても長いスパンになりますが、いろんな予算の要望等をしっかり出していき、区独自事業ができるよう予算獲得を頑張っていきたいと思います。 また、スポンサー料があれば何とかできるので、みんながウィンウィンになるようなシステムにしていくことで、もしかしたら実現できるかと思いつながりながら拝聴しました。 ※デジタル技術やデータを活用し、大胆に業務を見直すことによって、行政サービスの向上と業務効率化を図ること。	回答済み	総務課 （庶務）
2	広報	SNSの発信について、区職員は弱いというのが分かったので、地元の高校や学校等、SNSに長けている若者に、授業の一環として大正区の魅力について発信してもらってはどうか。 これからの将来のことを考えて、より社会人に触れさせることが必要だと思っているが、それを横断的にできていないというのが現状である。 区が主導して、高校生と社会人のやり取りを組んではどうか。区役所の事業を手伝ってもらい、その内の一つがSNSであることを知ってもらいたらいいいのではと思った。	角元委員	＜大津 区政企画担当課長＞ 現在区役所では、メディアプロモーションプランナーという会計年度任用職員を1人雇っており、その方に中心となってやってもらおうと考えています。 大正白稜高校とは、学力の向上や防災、地域の活性化に関すること等で区役所と協力していく包括連携協定を結んでいますので、大正白稜高校にも御意見を聞きながら考えていきたいと思っています。 ＜古川 区長＞ 区役所はSNSの発信がかなり弱いというご意見について、私も本当にそう思っており、気の利いたチラシ1枚作るのも大正区役所では苦労しています。区長会議でも、アプリ1つでチラシができるシステムをみんなで使おうと言ってる区長もあり、それを少しずつ使いながら自前の広報を充実させているところです。 高校生の新しい感性を使ったSNS発信等も、ぜひ手伝ってもらえたらいいと思います。包括連携も結んでいることもあり、近々校長と会おうと思っていますので、できることをお互いに発言し合ってこようかと思っています。	大正白稜高校とは地域の活性化に関すること等で協力していこうという包括連携協定を締結しているので、高校生の若い感性を反映したSNS発信についても、校長と話をしていこうと思います。	総務課 （庶務）
3	広報	こどものときからSNSの発信やまちのPR等に携わってもらうことで、住んでいるまちに対する愛着や誇りを生むような教育につながる可能性があるのでは、ぜひ検討してもらいたい。	土井委員			

議題1「令和6年度大正区事業・業務計画書（素案）」について

【当日出された意見等】						
	テーマ	意見内容	委員名	回答	対応	担当課
4	健康寿命延伸	健康経営優良法人をどんなふうに巻き込んでもらえるのか知りたい。企業はメリットがないと恐らくやらないと思うし、行政にやっていただくことが一番メリットになる。今回はどこが健康経営優良法人を取りましたと名前を周知していただいたり、どういうところを注意して取ったという話等も取り上げてもらえると思う。 社内でタバコを吸っている会社に若い人は来ないというぐらいにまでなっていると思うので、人材確保の意味も含めて、積極的に企業にチャレンジするよう呼びかけていただけたらありがたい。 大正区、港区は健康経営優良法人がとても少ないので、ぜひ行政の力をお借りしたい。健康経営優良法人は毎回発表があり、どこの区が何社受かったなど見られるので、区のPRにもなると思う。	南委員	＜大津 区政企画担当課長＞ 健康経営優良法人については、広報紙で取り上げたいと思います。 ＜北吉 副区長＞ 健康経営優良法人について広く知っていただけるよう、地域の会議などで健康に係る資料をお配りできる際に、そういったものも含めて御説明できたらと思っています。ひいては区の広報媒体も活用して、区内企業の取組の紹介なども考えていけるかと思っています。 ＜嶋原 保健福祉課長＞ 禁煙について、健診も含めて区としても力を入れていきたいと考えており、取組の1つとして禁煙セミナーの開催を予定しています。内容は講演形式で、地域の方や企業等に参加してもらい、健康経営優良法人を取られてるところからこういうメリットがあるという話など、何らかの形で一緒にやるようなものができないか、現在検討しているところです。 ＜古川 区長＞ 前回までの区政会議のご意見として、早速取り入れさせていただいたので、ぜひ南委員には大正区内の伝道師となっていただき、啓発に奔走していただければと思います。	回答済み	保健福祉課 （健康づくり） （保健活動）
5	窓口サービス	不正閲覧防止対策は年1回で大丈夫か。アクセスログをもう少し見てもいいのでないか。 民間企業でも一生懸命セキュリティ対策をしているところもあるので、行政ももう少し見てもらったほうがいいと思う。	南委員	＜安部 窓口サービス課長＞ 不正閲覧防止対策のモニタリングについて、事業・業務計画書に記載しているのは、全社統制のシステムによる定期的なモニタリングであり、年1回以上実施しているものです。 それ以外にも日常モニタリングとして、誰が何を見たかということを毎日必要に応じて手作業でチェックしております。特に重要な個人情報を取っているため、毎日一生懸命やらせていただき、頑張っている状況です。	回答済み	窓口サービス課 （住民登録・戸籍） （保険年金）
6	地域防災	地域防災について、先日、PTAの地域委員から、地域のお母さんお父さん方も含めてその校区の避難場所がどこにあるか知らない方が多いと聞いた。そのため、10月の区の合同防災訓練に合わせてPTAで勉強会をするので、話をしてほしいと依頼を受けた。 ここまで知らない人が多いというのは、広報やホームページ、区政だよりにおいて、ことあるごとに防災の問題を取り上げてもらっているが、なかなか目を通してもらっていないのが実情なのかと、今回身にしてみて分かった。	大石委員	＜中務 防災防犯担当課長＞ 大正区では、防災に係る出前講座を実施しており、PTAの皆様を対象にいつでも開催させていただきますので、よろしくお願いいたします。 ＜古川 区長＞ 防災や区役所業務に慣れすぎている関係者は、小学校に決まっているという先入観や思い込みのようなものがあると思います。そこを真摯に反省して、町会に入っていない方もいますので、しっかりPRに努めていきたいと痛感しました。	防災の啓発につきましては、X(旧Twitter)において毎月発信を行っているほか、9/1実施の大阪880万人訓練時における区庁舎での啓発ブース設置や、10/15大正区民まつりでの啓発ブースを設置するなど、あらゆる機会において、自分の命を守る「自助」と地域で支え合う「共助」の取組について呼びかけを行っているところです。 とりわけ、若い世代の区民のみなさんに対しては、スマホひとつで災害情報や避難所の一覧が確認できるほか、防災学習メニューも搭載されている「大阪市防災アプリ」の普及啓発が有効であると考えています。 引き続き、地域防災リーダーや地域自主防災組織と連携しながら、防災啓発に取り組んでまいります。	地域協働課 （防災防犯）
7	ICT化	ICTリテラシーの向上や支援体制充実について、区民のICTリテラシー向上や行政サービスの向上、業務効率化を図るとあるが、どのようなゴールを設定し、どういうことをやっていきたいのかという目標はあるのか。	土井委員	＜長瀬 総務課長＞ 行政サービスDX化について、令和3年9月にシステム標準化法が制定され、各種行政システムを標準化すべく、デジタル庁等も含め国のほうで動いているところです。それに伴い、パソコンや携帯電話からの入力等を広げていくことにより、様々な手続きがスムーズにいくようめざしています。 そういう意味におきましても、区民の皆様のICTリテラシー（パソコンやスマートフォンを活用する能力）を向上する取組も並行して進めていく必要があります。 大阪市では、各小学校区エリアでスマートフォン教室を開催できないか地域に投げかけており、今年度、来年度にかけてその取組を進めているところです。	大阪市では、令和3年度～6年度の3か年で24区のすべての地域（小学校区単位）でスマホ教室が開催されている状態を実現すべく取り組みを進めています。 大正区においても広く区民を対象とした「スマートフォン教室」を各地域の集会所や老人憩の家等で開催できるよう進めてまいります。大正区10地域中、令和5年度は5地域、令和6年度は10地域すべての地域での開催を予定しています。 「スマートフォン教室」の開催を通じて、区民の皆様のICTリテラシー学習機会の促進につなげてまいります。 また、システムの標準化につきましては、標準化移行可能な業務は令和7年度末までに、また税・福祉関係などの移行が困難な業務については令和10年度中への移行をゴールに設定し、デジタル庁と連携して行政サービスの向上、業務効率化を進めてまいります。	総務課 （庶務）

議題1「令和6年度大正区事業・業務計画書（素案）」について

【当日出された意見等】						
	テーマ	意見内容	委員名	回答	対応	担当課
8	ネウボラ	大正区版ネウボラについて、保育園の現場レベルの先生方にネウボラを知っているか聞いて回ったが、園長以外全く知らなかった。 体制としては成立しているのかもしれないが、もう少し周知してもいいのではないか。	土井委員	＜前田　こども・教育担当課長＞ 今年度策定した「大正区将来ビジョン2025」の中でも、「安心して子育てできる環境づくり」において、「大正区版ネウボラ」の仕組みの充実・強化を図ることを掲げております。 「大正区版ネウボラ」は、いわゆる妊娠期から中学生まで切れ目のない支援をして、重大な虐待を防ぐというものです。ネウボラにつきまして、区役所で「就学前こどもサポートネット事業」など実施しているところですが、まだ知っていただけていない部分もありますので、「大正区版ネウボラ」を実施しているということをしっかりと周知してまいりたいと思います。また、こういった施策をしっかりとやっていきたいと思っています。 ＜古川区長＞ 大正区版ネウボラは、こちらから幼稚園や保育所にアウトリーチ（訪問支援）をかけていき、しっかり対応しているというのが大正区の自慢の種で、実際にこれが機能して安心安全につながっているはずなので、どのように有効なものかということを広報していきたいと思います。 ネウボラという言葉が北欧の言葉で聞き慣れないところもあり、PRに苦労するのかもしれませんが、もう少し分かりやすい言い方で周知していきたいと感じたところです。	回答済み	保健福祉課 （こども・教育）
9	ネウボラ	幼稚園や保育園、学校に行ってるこどもはスクリーニング会議で把握できるが、幼稚園にも保育園にも所属してないこどももいる。 以前調査していただいたときは、大正区にはそのようなこどもが4人おり、それぞれ保育園や幼稚園に紹介して全て行き先が分かったと聞いた。 今年はどのような状況なのか。	仲田委員	＜前田　こども・教育担当課長＞ いわゆる幼稚園、保育所にも行っていないこどもの数につきまして、今現在、確認できておりませんので、また確認して報告させていただきたいと思います。 ＜古川　区長＞ 幼稚園にも保育園にも行けない子について、ほかの区の幼稚園や保育園に行っていたりいろんな事情があるので、内訳を調べていくと意外とどこかで見守られているという結論になることがあります。しっかり調べてみて、データも含めて押さえていきたいと思っています。	確認したところ、大正区における未就園児（令和5年9月現在）は7名であり、いずれも何らかの支援につながっていることがわかりました。これらの未就園児については、担当保健師等が家庭訪問等により、健康教育や子育て相談、絵本配付などを行うことで状況を把握しています。	保健福祉課 （こども・教育）
10	認知症施策	認知症施策の推進について、認知症のある高齢者等の財産に関する知見があまり周知されていないと思う。 後見人制度を適用するタイミングについても、時間がかかり、それまで口座を凍結されるという実例もある。これはそういう現場で働いている人や、そこに関わっている人しか分かっていない情報で、重度認知症になると口座が凍結されるなんて大半の人が思っていない。 そういう情報を広く周知させることでいろんな準備ができるのではないか。また、「早期対応が図れるように広報等支援に努める」という早期対応というのは、後見人制度の情報を発信するだけでは対応できないと思うので、財産をどういうふうに守っていくかというところの施策を実施したらどうかと提案をさせていただいた。	石田委員	＜古川　区長＞ 事前質問をいただいたときに、これは正解があるのかと我々スタッフの中で議論になりました。認知症を甘く見ていると、その人の預金を引き出せないようにする権限が銀行の側に委ねられているということにびっくりしました。 認知症が始まった段階、診断がついたらすぐに成年後見をつけるなり、あるいは銀行と話し合って名義変更をするなり、すぐにしなければいけないということを、初めて知りました。 成年後見制度だけではなく、こうした事例のPRにも努めていけたらと思っています。	回答済み	保健福祉課 （介護保険）

議題2 現区政会議委員在任期間中（令和3年10月1日～令和5年9月30日）の委員からのご意見と区政への反映について

【当日出された意見等】						
	テーマ	意見内容	委員名	回答	対応	担当課
11	区政会議運営	事前送付について、2回、3回と分けて送られてきたら混乱するので、資料はまとめて送ってほしい。	角元委員	＜大津 区政企画担当課長＞ 次回からできる限りまとめて送るよう努めます。 ＜古川 区長＞ 何回も送り直したり、できていないものを追加で送ったりするので、なるべくやめるように私もいつも言っていますが、私のチェックが遅かったりと私のせいである場合もありますので、ここでお詫びさせていただきたいと思います。	回答済み	総務課 （庶務）
12	区政会議運営	対応状況の「対応中」又は「対応予定あり」について、ゴールがいつなのか設定されていない。明記できなければ明記できない理由、明記できるのであればいつまでにというところを示すと誠意が伝わるのではないか。	石田委員	＜大津 区政企画担当課長＞ 様式を検討します。	回答済み	総務課 （庶務）
13	区政会議運営	区役所の中での評価基準や、いつまでにどうなったら成功という目標が、全てにおいて明確になってない。 健康寿命においても、禁煙セミナーをやりますで終わっている。タバコを吸う人は禁煙セミナーには行かないし、吸わない人が行っても意味がない。誰がターゲットか分からないし、人を呼ぶ気があまりないように思える。 区役所の中での評価や、どうなったら正解なのかが見えないので、質問する側としては「じゃあ頑張ってください」としか言えず、そこで終わってしまう。厳密に目標をととは言わないが、ここまで行きたい、ここまで行ったら明確にしておもらえると分かりやすいし、会議が活発になると思う。	南委員	＜大津 区政企画担当課長＞ 各事業・業務については、全て成果目標を設定しており、その目標を達成することがその事業・業務の到達点だと思っています。 おっしゃるとおり、この様式では成果が分かりにくいので、検討していきます。 ＜古川 区長＞ 評価基準や達成度について曖昧なのではというご意見について、これは耳が痛いと言いかねないです。役所の業務は大体そうですが、これを何とかアウトカムの状態、何が達成できたのかという指標に変えていこうと、今の大阪市はすごくそれに忠実に、力を入れてやっています。まだまだ道半ばですので、引き続き頑張っていきたいと思っています。	現在大阪市では事業ごとに何が達成できたかを指標でみることに力を入れており、大正区では全事業において成果目標を設定のうえ評価しています。会議の資料においても、それらの目標や達成状況を分かりやすく明記するよう考えてまいります。 また、禁煙セミナーでは、禁煙や受動喫煙について広く啓発を行い、企業も巻き込みながら区民の健康増進を支えることを目的とした地域づくりをめざして行きたいと考えています。区民意識調査の結果等を踏まえながら目標設定を行い、事業を実施してまいります。	総務課 （庶務） 保健福祉課 （健康づくり） （保健活動）

議題2 現区政会議委員在任期間中（令和3年10月1日～令和5年9月30日）の委員からのご意見と区政への反映について

【当日出された意見等】						
	テーマ	意見内容	委員名	回答	対応	担当課
14	健康寿命延伸	禁煙外来において一番主要な薬が現在出荷停止になっており、再開のめどが立っていない。禁煙外来を頑張ろうという人の受け皿がない中で、禁煙セミナーを開催して大丈夫なのか。	姉川委員	<嶋原 保健福祉課長> 禁煙対策を進めるにあたって、済生会泉尾病院が禁煙外来もされていることもあり、状況をきかせてもらっています。薬の話はありますが、セミナーは進めていきたいと思っています。 特にこのセミナーは、一つ大きく打ち出しいろんな人に関わってもらいたいという思いの中でしています。もちろんこのセミナー1本で全てが解決とは思っていませんし、小さいことも等、いろんな機会をとらえて、それぞれのところで啓発をしていきたいと考えています。その中の1つ、大きく人を呼ぶ形のものがこのセミナーと考えています。 前回の説明にもありましたように、大正区はがんによる死亡率が高い中で、肺がんの率も高いというところも含め、特に子どもや妊婦等の受動喫煙をできるだけ減らしていきたいと考えております。 <北吉 副区長> 喫煙の取組のターゲットとしては、例えば男性喫煙者は市が25.9%、大正区が33.6%と、大正区は喫煙者の割合が大阪市と比べて常に高く、まずは大阪市の平均ぐらいいはしたいという思いは持っています。 問題意識として、保健師の職員とも話をしていますが、やはり妊婦で喫煙している人等への働きかけも必要で、力を入れて取り組んでいかないといけないと思っていますところ です。 また、本日報道発表された内容では、ICTを用いた禁煙支援事業「おおさかチャチャッと卒煙」が、令和5年度で1,200人を対象に参加費無料で明日から受付がはじまります。そういった市の取組について、卒煙したい人に、大正区でも広く知っていただく努力もしていきたいと考えています。 <古川 区長> 処方薬がないという話は少し研究します。 一方でまさに本日、横山市長が会見しておりまして、やはり喫煙人口を下げていくことが大阪の健康長寿のために必要というのが大阪市当局の考え方でもあります。したがって「おおさかチャチャッと卒煙」アプリというアプリを作るそうです。当面は1,200人を対象にサービスを開始するそうなので、ホームページ等でチェックしていただければと思います。	現在、禁煙補助薬である飲み薬は販売停止中であり、使用不可となっています。 また、禁煙対策を実施するに当たっては、済生会泉尾病院から現在の禁煙外来の治療状況のお話をきかせていただきました。今後も連携を持ちながら、禁煙対策を実施していきたいと考えています。 禁煙セミナーでは、禁煙や受動喫煙について広く啓発を行い、企業も巻き込みながら区民の健康増進を支えることを目的とした地域づくりをめざして行きたいと考えています。 また、禁煙をしたいと考えている方には、禁煙外来を含む情報提供や、ICTを用いた「おおさかチャチャッと卒煙」アプリを周知し、喫煙率の低下をめざしていきます。	保健福祉課 （健康づくり） （保健活動）
15	外国人対応	防災や交通に関して、外国人支援という視点から提言をさせていただいたが、それに対して、区でも外国人支援訓練を実施したり、交通ルール・マナーの啓発物を多言語化するという取組をされており、非常にありがたい。 外国人支援について、外国人支援コーディネーターといった専門職を、例えば1人、区かセンター等に置くことは可能か。	柊委員	<中務 防災防犯担当課長> 外国人の方を対象とした防災訓練について、以前の区政会議で堀江委員から地域の防災訓練と一緒にやりましょとおっしゃっていただきましたので、10月の三軒家東地域防災訓練に柊委員の生徒さんも参加いただいたと思っています。ご協力の程よろしく願いいたします。 <古川 区長> 我々はやさしい日本語にすることや、意識改革、人権問題から差別の問題という形でアプローチすることは非常に多いですが、何が外国人の方々にとって便利かという観点で突き詰めると、柊委員がおっしゃる外国人支援コーディネーターはすごく面白い発想だと思います。 しかし、支援の専門員そのものがなかなかいないと思うので、それを例えば会計年度職員で配置できるかといったら厳しいと思います。当面はまさに御社のような団体さんと連携して対応できればと思っています。	回答済み	総務課 （庶務） 地域協働課 （防災防犯）
16	防災防犯	交通安全に関して、通学路の危険なところは大阪全区でリスト化されているが、通学路に特化するのではなく、例えば大正区の交通で危険なところを示すマップがあればありがたい。	柊委員	<中務 防災防犯担当課長> 小学校の通学路については、毎年地域を定めて道路管理者である警察と建設局及び小学校と区役所が危険個所のチェック及び改善を行っています。大正区の交通で危険なところとなりますと、区役所では把握が難しいです。警察と連携して出来ることがあれば協力していきたいと考えております。	大阪府警察ホームページには各区の「交通事故発生マップ」が掲載されておりますので、ご確認ください。 （大正区役所のX(旧Twitter)においても発信しております。） 大阪府警察ホームページ https://www.police.pref.osaka.lg.jp/kotsu/jiko/3/44/13894.html	地域協働課 （防災防犯）

議題2 現区政会議委員在任期間中（令和3年10月1日～令和5年9月30日）の委員からのご意見と区政への反映について

【当日出された意見等】						
	テーマ	意見内容	委員名	回答	対応	担当課
17	防災防犯	朝の見守り隊で立っているところが、トラックやトレーラー等が多く通る危険な場所なので、こどもに何かあったら困ると心配している。警察の方も、交通事故の危険個所を回ってきてほしいし、こどもの安全性を考えてほしい。	松村委員	<古川 区長> 区役所でトラックの規制はできませんが、見守り隊の皆さんがベストをつけて危険な場所に立っていただいていることこそが規制、いわゆる交通事故の抑止につながっているのではないかと、私どもは信じていますので、地域の力はこれからもお借りできればと思います。	大正区区政会議からのご意見として、大正警察にお伝えさせていただきます。	地域協働課 （防災防犯）
18	こどもの見守り・高齢者の見守り	三軒家東の話しか分らないが、シングルマザーが増えているように思う。また、何人かのこどもが朝、泣いて学校に行かず、先生に連絡して連れて行ってもらおうという現状を目の当たりにしている。こどものSNS発信などを話す前に、人間性の問題を感じる。 御飯も食べずに出てきている人もいるので、地域で月何回か給食や高齢者向けの食事サービスを行っているが、私も入れてほしいという話が増えてきており、いっぱいいっぱいになっている。 地域では、こどもと高齢者を両方見ていかなければいけない。禁煙の問題について議論しているが、本当に食べていくのが大変な方を目の当たりにしているので、ギャップを感じる。もっと身近なところで何か支援が必要なのではないか。	堀江委員	<嶋原 保健福祉課長> 高齢者の居場所について、地域の皆さんに御協力いただき、つどいの場所として集まってもらって、これは一つの見守りにもなっていくところを含めて、ふれあい喫茶や食事サービスというのはとてもいい活動でもありますし、参加される方も喜んで参加いただいていると思っています。 大阪市からの委託事業ではありますが、区社協さんとそういうつどいの場所を調べたり創設したりなどという事業を実施しており、そういう参加できる場所を増やしていく取組も区も連携して行っています。 また、各地域の思いや意見について、区社協さんや区役所、関係者が集まって、課題や意見を聞く場を設けてます。その中で、区の南のほうで買い物する場所が少なくなってきたので移動販売がお願いしてできるような形になってきたということもあります。こういう取組は区役所だけではなくなかなか難しいと思いますので、区役所と地域社協さん、区社会福祉協議会さん等いろんなところが連携した中で、進めていければと考えておりますので、またいろいろと御協力をよろしくお願いします。 <古川 区長> 高齢者の見守りと登校できない子を見守りをどう整合していくのかということについて、1つの解を見つけた地域があります。三軒家西地域では今年からふれあい喫茶とすみれキッチンという食事サービスを同時にやっています。 これは北川会長をはじめ地域が工夫していただいて、同じ会館の中で予算の仕切りはしっかりつけています。ふれあい喫茶とこどもの食事と同じパンを出していただいています。それによって毎回100人を超えるこどもと大人が集まっているという成功事例もありますので、研究していただければと思います。	回答済み	保健福祉課 （福祉） （介護保険） 保健福祉課 （こども・教育）
19	高齢者の見守り	現在、三軒家西では70歳以上の高齢者が800人弱おり、独り暮らしの方もたくさんいる。 地域では包括や推進委員等が毎月訪ねて、みんなで見守りながらやっているが、先日は50代の男性が5日ほど仕事に来ておらず、会社の人が見に行ったら既に亡くなっていたという事例もある。 高齢者の方が非常に多く、家族と住んでおられる方はいいが、独り暮らしの方が大変気になっている。	北川委員	<古川 区長> 認知症の方や独り暮らしの方は心配事も多いということに対しては、地域の見守りの力そのものをレベルアップしていくことで、我々も一緒に考えていきたいと思っています。	三軒家西地域におかれましては、要援護者名簿を活用した日ごろの見守り活動を実施していただき、誠にありがとうございます。 見守り活動の中で、お悩み等ございましたら、見守り相談室や区役所までお気軽にご相談ください。	保健福祉課 （福祉）

議題2 現区政会議委員在任期間中（令和3年10月1日～令和5年9月30日）の委員からのご意見と区政への反映について

【当日出された意見等】						
	テーマ	意見内容	委員名	回答	対応	担当課
20	区政全般	区役所や警察署は大正区の玄関なので、建物前の草木や溝等を整備してきれいに保ってほしい。千島公園も皆さんの憩いの場所なので、お金をかけるところはかけて、きれいにしていただきたい。 また、泉尾東小学校横のグラウンドにすばらしいフェンスができて、きれいになり、こどもが喜んでいたが、既に雑草がたくさん生えている。多額の資金をかけてグラウンドをきれいにするのであれば、こどもがたくさん遊んでいる他のところへ費やすか、せめて雑草ぐらいは抜いておいてほしい。 費用対効果の話も含めて、全体がよくなるような身近な行政に力を入れていただきたい。	堀江委員		区役所前の草木や溝等につきましては、清掃を行い清潔に保ってまいります。 泉尾東小学校横のグラウンド（南泉尾公園）のフェンスにつきましては、老朽化に伴い改修工事を実施したものでございます。千島公園や南泉尾公園のグラウンドの除草につきましては、建設局八幡屋公園事務所において定期的に行っております。	総務課（庶務）
21	まちづくり	鶴町地域は高齢者が多いので移動販売は助かるが、お店がなくて本当に不自由をしているので、スーパーが欲しいという意見が出ている。皆さんの力を借りて移動販売を始めることができたので、今度はスーパーについて、また皆さんの力を借りたい。	松村委員	<古川 区長> スーパーの進出については、本当は人口が増えていただくのが一番いいのですが、民間企業の立地の問題なので、なかなか我々が誘致するのは難しいです。大きな土地などがあれば、区役所も積極的に紹介していこうとは思っています。	鶴浜地区に大きな事業予定地がございますが、区民のみなさまの関心も非常に高く、この事業予定地の活用については地域の意見等を把握することが肝要でありますので、例えば区政会議で意見交換も行ってまいりたいと考えています。	総務課（庶務）

【ご意見シート】

	意見内容	委員名	回答	対応	担当課
22	白陵高校の生徒さんがHP等で町の魅力を発信する案が出たが、大正区としても町を魅力的に感じてほしいターゲット層のひとつである若者に向けて、若者目線の発信ができるし、学生からすれば普段の学校の学びを社会実証できる機会になり、双方にとってプラスになるような取組みに育ってほしい。	土井委員		大正白稜高校とは地域の活性化に関すること等で協力していこうという包括連携協定を締結しているので、高校生の若い感性を反映したSNS発信についても、校長と話をしていこうと思います。	総務課 (庶務)
23	8月25日、26日の三軒家東の盆踊りに参加したが、地域の大人が団結してこどもを楽しませる素晴らしいイベントだった。先人がずっと営んできた町の活性活動の一部分を見ることができ、敬服した。 一方で、運営の担い手不足を嘆く声が複数聞こえてきた。担い手の負担が少しでも軽くなるような仕組みを、町の団結によって解決できないものかと強く願った。	土井委員		大阪市では、全区において令和8年度末までに町会加入率向上をめざしており、当区においても広報紙10月号に地域活動に関する記事を掲載し広く区民の方に紹介いたしました。当区はコミュニティのつながりが強い区であると考えられることから、きっかけさえあれば地域活動に参加される方がいらっしゃると思います。そのため、日頃、地域活動と関わりの少ない世代をはじめ、あらゆる世代の住民同士のつながりを引き続き促進するとともに、地域活動に参加するきっかけとなり、新たな担い手が生まれるような取組を進めてまいります。 また、引き続き地域まちづくり実行委員会の活動支援や、区役所と地域団体だけではなく地域にある企業とも協働していくことで、持続可能な地域コミュニティづくりの支援に取り組んでまいります。	地域協働課 (地域協働)
24	速記者は居なかったように思ったが、やめたのでしょうか。 時間に追われない古川区長の総括を聞けて、個人的にはよかった。	土井委員		速記者につきましては、今回オンライン参加者の様子を確認するため、お配りしていました座席表より席の位置を変更しておりましたが、引き続き配置しております。	総務課 (庶務)